

会議報告書

日にち	令和7年9月8日(月)	会議名	令和7年度
時間	10:00 ~ 12:00		地域連携推進会議
場所	KOCO・ジャム あいユニット		

出席者：齋藤茂樹副会長(戸倉自治会)、櫻井奈穂子館長(恋ヶ窪公民館)、新妻俊男管理者(地域包括支援センターこいがくぼ)大西将之様(ご利用者)、南百瀬千代様(あいユニットご家族)、堀里美様(いろはユニットご家族)、室地理事長、加藤管理者、鶴澤主任、小池主任

記録者：加藤

1. 開会挨拶

室地理事長より

いつもケアホームこの葉の運営にご協力、ご理解をいただきましてありがとうございます。またお忙しいなか、お時間を作ってお集まりいただき、重ねてお礼申し上げます。

今年度、初めての開催となりました地域連携推進会議ですが、会議の目的としましては、4つの目的があり、事業所と地域が連携することにより、利用者と地域との関係づくり、地域の方への施設や利用者に関する理解促進、サービスの透明性や質の確保、利用者の権利擁護となっております。外部の方をお迎えする機会が初めてとなり、至らない点があるかと思いますが、皆様の忌憚なきご意見をいただき、有意義な時間にしていきたいと思います。よろしくお願い致します。

加藤管理者より

本日は、ご利用者やご家族も参加しており、グループホームでの生活や、ご家族のお気持ち等も直接お聞きできる機会となっております。ぜひ色々な質問などしていただきながら、ケアホームこの葉のこと、ご利用者のこと等を知っていただけたらと思います。よろしくお願い致します。

2. 出席者紹介

出席者紹介に先立ち、社会福祉法人万葉の里地域連携推進会議設置要綱を読み上げ確認する。(別紙参照)

新妻管理者：地域包括支援センターこいがくぼは西恋ヶ窪にあります。地域包括支援センターは市内に6か所あり、市からの委託事業となります。高齢と障害を包括して支援しており、19年間この仕事に携わっていますが、グループホームの事や障害については知らないことも多く、とても良い機会だと思って参加させていただきました。

齋藤副会長：自治会長は参加出来ないため、代理で参加させていただきました。戸倉自治会は地域が広い為、5地域に分かれて活動しています。防犯活動や防災訓練を実施しており、窪東公園での訓練には、KOCO・ジャムさんも参加してくれました。尾田さん(前 KOCO・ジャム管理者)とは、現在も自治会運営でお会いしており、KOCO・ジャムの事はある程度知っているはいますが、建物内に入るのは開所当初以来なので、運営後の様子を見る機会となり楽しみに来ました。

櫻井館長：本年度本多公民館から異動してきました。くぬぎ教室には長年関わっていますが、ケアホームこの葉のこと、グループホームの事は良くわかっていないので勉強させていただきたいと思います。また、今回障害のお持ちの方の事を知ること、公

民館の活動に反映していけたらと思っています。

南百瀬さん：あいユニットでお世話になっています。地域の方が参加されると聞いて、少しでも関係性が出来れば良いなと思い参加させていただきました。

堀さん：いろはユニットでお世話になっています。息子は知っているけれど、自分が知らないことも多いので、この機会をもお受け手いただき有難いと思っています。

鷺澤：男性ユニットのいろはとみらいを担当しています。自治会の活動には、男性利用者と一緒に参加させていただいています。本日はみらいユニットのご利用者が参加してくれています。

小池：あいユニットを担当しています。あとで日々に様子などお伝えできるかと思いますが、買物等、ご利用者と一緒に出掛けることもあり、見かけてくださる機会もあるかと思っています。地域の方と交流できる良い機会にしていきたいと思っています。

大西さん：大西将之です。よろしくお願ひします。(職員補足：みらいユニットで生活しています。洗濯や洗い物を頑張っています。お部屋ではパソコンでインターネットをします。)

3. 施設訪問

施設見学(30分程度)

リビングや浴室、トイレなどや事前に許可を得られた方の居室内も見学しながら、ホームでの暮らしを説明する。参加されたご利用者の居室に関しては、ご自身で説明してもらう。

4. ケアホームこの葉の日々の様子/取り組みについて

パンフレットや模造紙による事業紹介ポスターを見ながらホームについて説明(別紙参照)

いろは：男性が5名。帰寮後の流れについて。17~18時前には帰寮。その後訪問マッサージや散歩などして過ごす。18時には全員で食事をし、テレビを見ながら過ごし21時には消灯。みんなでリビングで過ごすことが多い。

みらい：男性が4名。帰寮時間はバラバラで16~19時の間。一人ひとりの時間を大切に過ごしている。食事の時間、入浴の時間は、ご自分でそれぞれ決めており、入浴については、時間を決めて順番に入るよう協力し合っている。利用者自治会を行い、それぞれが頑張ることを決めている。

大西さん：皿洗いを頑張っている。(職員補足：皿洗いの仕方、一度お椀を水に入れて洗うを自治会で披露した。それを見て他の方も同じように行った。また他の方がダンスや体操を頑張っていることを知って、大西さんも取り組むようになった。)

あい：女性が6名。それぞれが違うスタイルを持っており、生活の幅が広い。ご利用者同士、声を掛け合っている。「お帰り」「ただいま」など。職員が主導したわけではないが、そういった雰囲気がある。したいこともそれぞれで、テレビを見たい人、見たくない人などお互い譲歩して過ごしている。

5. 施設訪問の感想やご意見

櫻井館長：公民館では土日に市民向けのプログラムを実施しており、障害者の方いかに利用していただくかを考える機会になった。大西さんが参加し下さり意見を聞いて良かった。他の方もぜひ参加して欲しい。

新妻管理者：初めてグループホームを見学した。とても新鮮だった。自身のところにもホームがあるが、やはり違いも感じた。利用者自治会をされていることは素晴らしいと思った。また、可能なら障害福祉課の方にも参加してもらい、どんなところを配慮したらよいか知ってもらったり、ボランティア養成に役立ててもらえるのではな

いか。障害者の方が一般の方と一緒に参加できる講座などが開設出来たらよいと思った。次回の開催については、開催時間は合わせることが出来ると思う。形骸化せず継続していかれることを期待している。

齋藤副会長：外で（ケアホームこの葉のことを）聞いていただけだが、大変だなと思っていた。利用者さん全員の満点をとることは難しく、なかなか大変だと思う。職員の意見をいただきながら、自治会を運営していきたい。

南百瀬さん：自分の子供はこの葉でお世話になることが出来ているが、グループホームに入りたくても入れない方が多い。入れたことはラッキーだと思っている。娘は区分6と支援もたくさん必要で、なかなかグループホームに入ることが出来ない。万葉の里だから入れたと思っている。体調不良時など日中の支援もしてもらっている。

大西さん：話せました。

（ご意見）

齋藤さん：恋ヶ窪での防災訓練にはケアホームこの葉のスタッフが2名参加してくれた。東戸倉地域の避難場所は第一中学校と窪東公園となっている。情報が遮断されたされた時などに、どうやってグループホームと連携が取れるだろうと考えているが、道路状況の情報については提供ができる。食料や水に関しても事前に人数を登録しておくことで配布もできる。事前情報があることで対応することができる。非常用備蓄食を食べて、試しておいしい物を取り入れていって欲しい。今はおいしい物が色々揃っている。

南百瀬さん：親の理想としては、地域の方が「元気？」と気軽に声をかけてくれること。少しずつわかってくれる人が広がるといい。

齋藤さん：地域の人からするとそれがなかなか難しいことだと思う。お祭りの時など、職員と一緒にいると声をかけやすい。

理事長：櫻井館長より公民館のプログラムの話があった。グループホームから参加しやすいプログラムを提案してはどうか。

櫻井館長：年間5回の開催がある為、ぜひ参考にさせていただきたい。

6. 次回開催について

年1回の開催を予定しており、次回は来年度開催予定。

構成員としては、今年度同様と考えている。利用者及び利用者家族については、今年度参加の方以外の方に依頼を行う。齋藤副会長、櫻井館長、新妻管理者への来年度の参加依頼を行い承諾を得る。

7. 閉会挨拶

加藤管理者より

皆様のご協力により、会議がスムーズに開催できましたこと、感謝いたします。また地域の方々のご利用者やご家族が直接話せる機会となり、地域の方々の貴重なご意見もいただきました。この会議をきっかけとして、地域との繋がりを強くしていけるよう努めて参りたいと思います。

本日はありがとうございました。